

有機溶剤の種類と区分

有機溶剤中毒予防規則の対象となる有機溶剤は下記の54種類です

	物質名	CAS No.	沸点	参考IARC	がん原性指針
第1種有機溶剤	クロロホルム	67-66-3	62℃	2B	○
	四塩化炭素	56-23-5	77℃	2B	○
	1,2-ジクロロエタン (別名二塩化エチレン)	107-06-2	84℃	2B	○
	1,2-ジクロロエチレン (別名二塩化アセチレン)	540-59-0	60℃		
	1,1,2,2-テトラクロロエタン (別名四塩化アセチレン)	79-34-5	146℃	3	
	トリクロロエチレン	79-01-6	87℃	2A	
	二硫化炭素	75-15-0	46℃		
第2種有機溶剤	アセトン	67-64-1	56℃		
	イソブチルアルコール	78-83-1	108℃		
	イソプロピルアルコール	67-63-0	83℃	3	
	イソペンチルアルコール (別名イソアミルアルコール)	123-51-3	132℃		
	エチルエーテル	60-29-7	35℃		
	エチレングリコールモノエチルエーテル (別名セロソルブ)	110-80-5	135℃		
	エチレングリコールモノエチルエーテルアセテート (別名セロソルブアセテート)	111-15-9	156℃		
	エチレングリコールモノノルマルブチルエーテル (別名ブチルセロソルブ)	111-76-2	171℃	3	
	エチレングリコールモノメチルエーテル (別名メチルセロソルブ)	109-86-4	125℃		
	オルト-ジクロロベンゼン	95-50-1	180℃	3	
	キシレン	1330-20-7	138℃	3	
	クレゾール	1319-77-3	191℃		
	クロロベンゼン	108-90-7	132℃		
	酢酸イソブチル	110-19-0	118℃		
	酢酸イソプロピル	108-21-4	89℃		
	酢酸イソペンチル (別名酢酸イソアミル)	123-92-2	142℃		
	酢酸エチル	141-78-6	77℃		
	酢酸ノルマル-ブチル	123-86-4	126℃		
	酢酸ノルマル-プロピル	109-60-4	102℃		
	酢酸ノルマル-ペンチル (別名酢酸ノルマル-アミル)	628-63-7	149℃		
	酢酸メチル	79-20-9	57℃		
	シクロヘキサノール	108-93-0	161℃		
	シクロヘキサノン	108-94-1	156℃	3	
	1,4-ジオキサン	123-91-1	101℃	2B	○
	ジクロロメタン (別名二塩化メチレン)	75-09-2	40℃	2B	○
	N,N-ジメチルホルムアミド	68-12-2	153℃	3	○
	スチレン	100-42-5	145℃	2B	
	テトラクロロエチレン (別名パークロロエチレン)	127-18-4	121℃	2A	○
	テトラヒドロフラン	109-99-9	66℃		
	1,1,1-トリクロロエタン	71-55-6	74℃	3	○
	トルエン	108-88-3	111℃	3	
	ノルマルヘキサン	110-54-3	69℃		
	1-ブタノール	71-36-3	117℃		
2-ブタノール	78-92-2	100℃			
メタノール	67-56-1	65℃			
メチルイソブチルケトン	108-10-1	117℃	2B		
メチルエチルケトン	78-93-3	80℃			
メチルシクロヘキサノール	25639-42-3	174℃			
メチルシクロヘキサノン	1331-22-2	163℃			
メチルノルマル-ブチルケトン	591-78-6	126℃			
第3種有機溶剤	ガソリン		38~204℃	2B	
	コールタールナフサ (ソルベントナフサを含む。)		120~200℃		
	石油エーテル		35~60℃		
	石油ナフサ		30~170℃		
	石油ベンジン		50~90℃		
	テレピン油		149℃		
	ミネラルスピリット (ミネラルシナー、ペトロウムスピリット、ホワイトスピリット及びミネラルターペンを含む。)		130~200℃		

注：上記有機溶剤が5%を超えて含有されている物質も該当します。有機溶剤かどうか分からない場合は、その製品に添付されるSDS（安全データシート）等により確認する必要があります。

注：IARC（国際がん研究機関）の発がん性分類 1：ヒトに対して発がん性がある 2A：ヒトに対しておそらく発がん性がある
2B：ヒトに対する発がん性が疑われる 3：ヒトに対する発がん性が分類できない

注：がん原性指針については9ページ参照

注：上記物質名中、「クロロ」は「クロロ」と表記されることもあります。